

◆ 今週のコメント

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が3例(第22週追加報告分2例含む)(10歳未満男性, 20歳代女性, 60歳代男性)あります。本年の累積報告数は4例となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市感染症情報センター「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(70歳代男性)あります。感染経路は不明です。本年の累積報告数は5例です。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代男性)があります。本年の累積報告数は14例となっています。

◆ 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

- ・ 京都市のヘルパンギーナの定点当たり報告数は、本市過去5年平均値を上回る状況が続いており、今週は1.10(46例)と、過去5年平均値の2.2倍に上っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 8例(肺結核 3例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 1例
- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症 3例(第22週追加報告分2例含む)【1月以降の累積報告数 4例】
- ・ 三類:腸チフス 1例(第22週追加報告分)【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 四類:E型肝炎 1例(第21週追加報告分)【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例(第22週追加報告分)【1月以降の累積報告数 5例】
- ・ 五類:梅毒2例(早期顕症梅毒1例, 無症状病原体保有者1例)(第19週及び第22週追加報告分)【1月以降の累積報告数 12例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 14例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例(第18週追加報告分)【1月以降の累積報告数 47例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 12	8
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7. 43	312
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 95	82
	③ ヘルパンギーナ	1. 10	46
	④ 流行性耳下腺炎	0. 79	33
	⑤ 手足口病	0. 50	21
眼科	流行性角結膜炎	0. 20	2

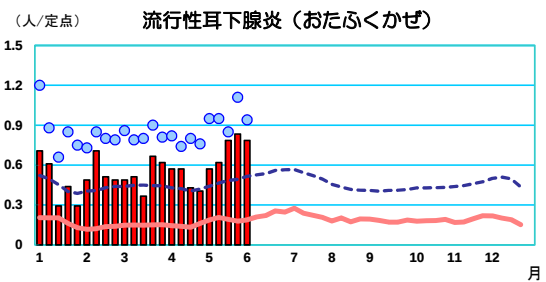
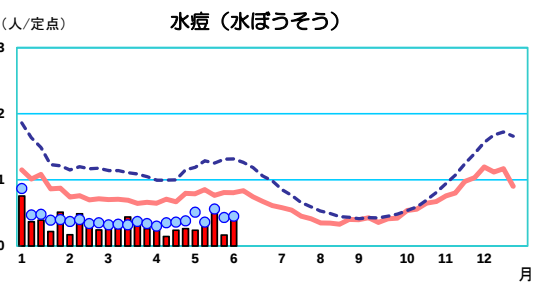
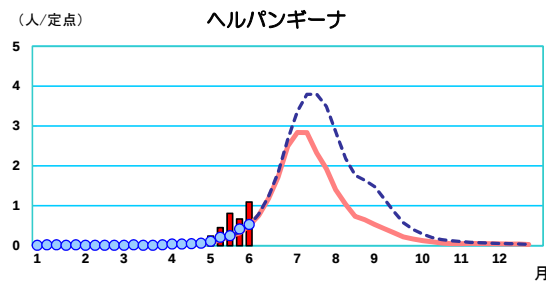
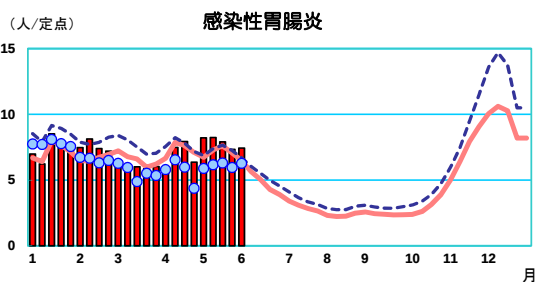
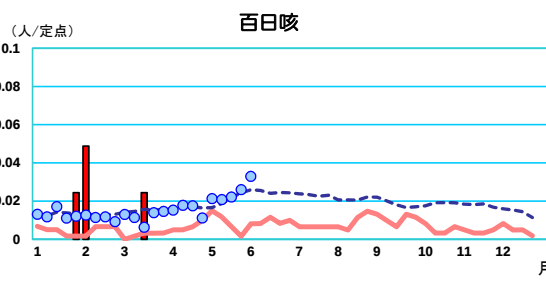
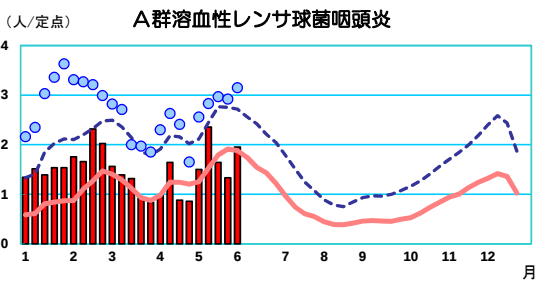
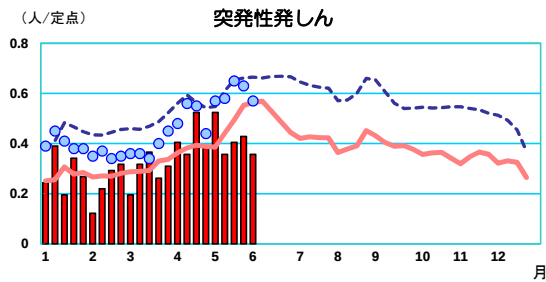
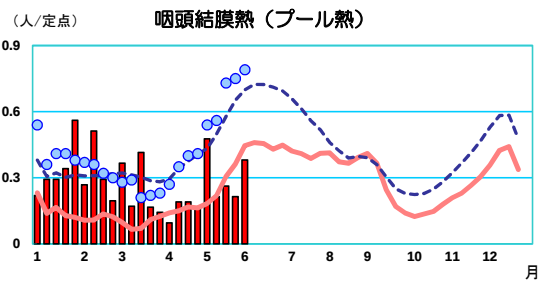
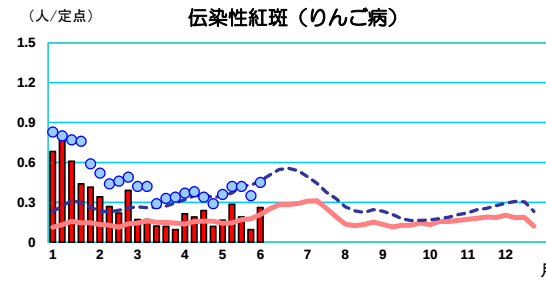
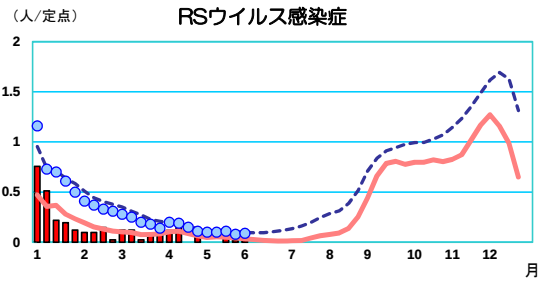
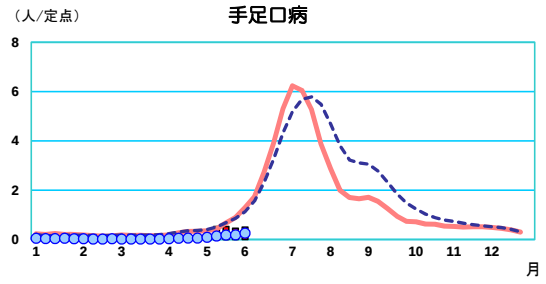
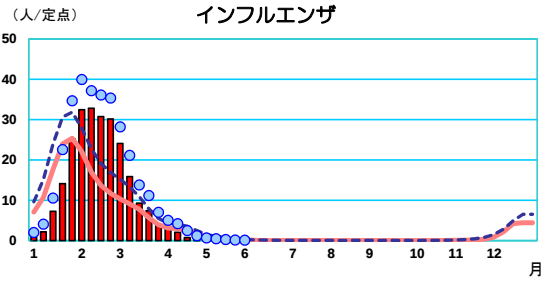
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年6月15日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第23週(6月6日～6月12日)トピックス: <ヘルパンギーナ>

京都市及び全国の発生動向

京都市のヘルパンギーナの定点当たり報告数は、本市過去5年平均値を上回る状況が続いており、今週は1.10(46例)と、過去5年平均値の2.2倍に上っています(図1)。全国では西日本で報告数の多い状況が続いており、多い順に香川県、島根県となっています(図2)。近畿でも兵庫県を除く5府県で全国平均(0.53)を上回りました(図2)。流行のピークが予想される7月に向けて、さらに報告数が増加すると考えられるため、今後の発生動向に注意が必要です。

症状

ヘルパンギーナは、乳幼児を中心に夏季に流行するいわゆる「夏かぜ」の代表的疾患です。発熱、口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とし、主にコクサッキーウイルスA群を原因として発症します。潜伏期間は2～4日で、突然、38～40℃の発熱が1～3日間続きます。咽頭痛、咽頭粘膜の発赤のほか、口腔内には直径1～5mmほどの小水疱が出現し、疼痛を伴います。ほとんどは予後良好ですが、まれに無菌性髄膜炎、急性心筋炎などを合併することがあります。患者の年齢は、5歳以下が全体の90%前後を占めます(図3)。

予防

感染予防として、患者との濃厚接触を避け、うがいや手洗いを心掛けましょう。特に、保育園などの集団生活施設では感染を広げないため、すべての職員が正しく手洗いをするのが大切です。回復後も2～4週間、便にウイルスが含まれますので、トイレやおむつ交換の後などは特に手洗いを十分に行いましょう。



図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

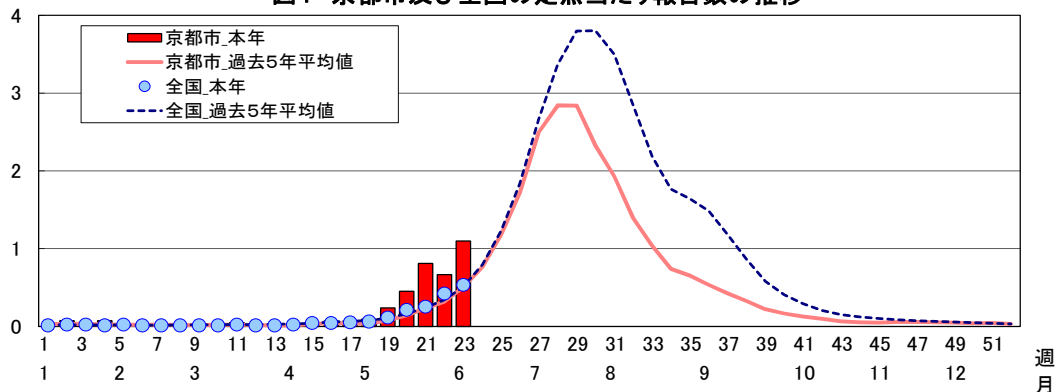


図2 都道府県別定点当たり報告数の推移

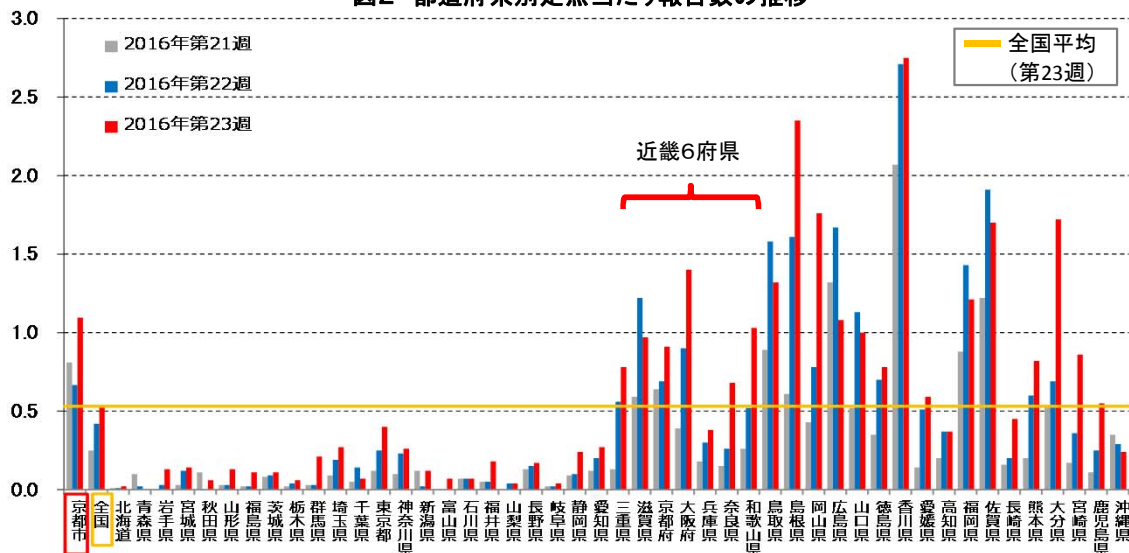
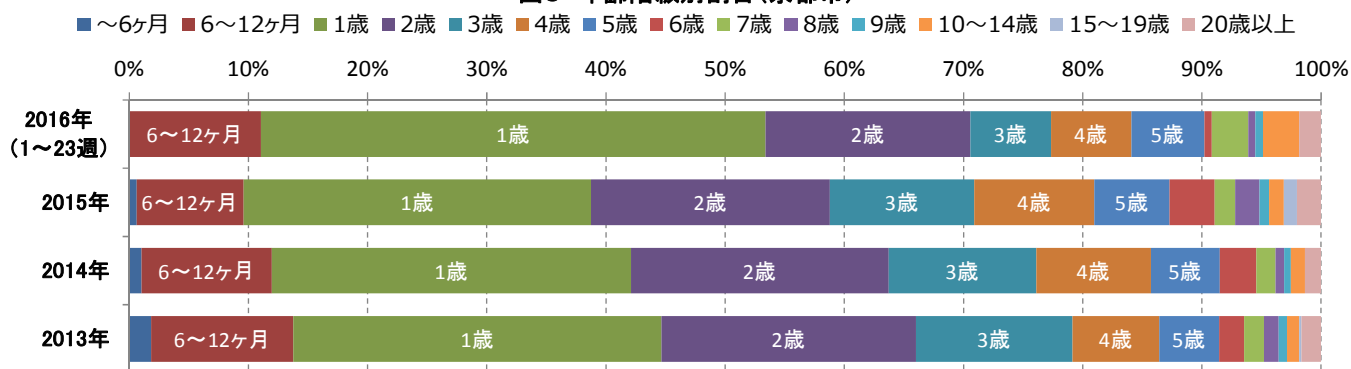


図3 年齢階級別割合(京都市)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第23週

疾病,行政区別報告数

平成28年6月6日～平成28年6月12日

データ入手日:平成28年6月15日

	インフル エンザ （※1）	R S ウィルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	咽 Δ 群 溶 血 性 レン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性 髄 膜 炎 （※2）	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 （※3）	感 染 性 胃 腸 炎 （※4）
男女合計																			
北	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	3	-	-	-					
上京	-	-	-	3	7	-	2	-	-	-	6	1	-	-					
左京	-	-	-	18	71	3	-	3	1	-	2	2	-	1					
中京	-	1	-	5	5	-	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	14	1	-	-	-	-	-	-							
山科	-	-	-	14	8	5	-	1	3	-	7	4	-	-					
下京	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-							
南	7	-	4	2	22	1	7	-	1	-	7	-							
右京	-	-	3	22	65	5	7	-	3	-	6	8	-	1					
伏見	-	-	6	10	66	3	-	3	5	-	12	14	-	-					
西京	-	-	3	7	45	-	5	4	1	-	3	1	-	-					
京都市計	8	1	16	82	312	18	21	11	15	-	46	33	-	2	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフル エンザ （※1）	R S ウィルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	咽 Δ 群 溶 血 性 レン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性 髄 膜 炎 （※2）	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 （※3）	感 染 性 胃 腸 炎 （※4）
男女合計																			
北	-	-	-	0.25	1.25	-	-	-	-	-	0.75	-	-	-					
上京	-	-	-	1.00	2.33	-	0.67	-	-	-	2.00	0.33	-	-					
左京	-	-	-	4.50	17.75	0.75	-	0.75	0.25	-	0.50	0.50	-	1.00					
中京	-	0.33	-	1.67	1.67	-	-	-	0.33	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	7.00	0.50	-	-	-	-	-	-							
山科	-	-	-	3.50	2.00	1.25	-	0.25	0.75	-	1.75	1.00	-	-					
下京	0.33	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-							
南	1.40	-	1.33	0.67	7.33	0.33	2.33	-	0.33	-	2.33	-							
右京	-	-	0.60	4.40	13.00	1.00	1.40	-	0.60	-	1.20	1.60	-	1.00					
伏見	-	-	0.86	1.43	9.43	0.43	-	0.43	0.71	-	1.71	2.00	-	-					
西京	-	-	0.60	1.40	9.00	-	1.00	0.80	0.20	-	0.60	0.20	-	-					
京都市計	0.12	0.02	0.38	1.95	7.43	0.43	0.50	0.26	0.36	-	1.10	0.79	-	0.20	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第23週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年6月6日～平成28年6月12日

データ入手日:平成28年6月15日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳～	1歳 1歳 1歳 5歳～	2歳 2歳 2歳 10歳～	3歳 3歳 3歳 15歳～	4歳 4歳 4歳 20歳～	5歳 5歳 5歳 25歳～	6歳 6歳 6歳 30歳～	7歳 7歳 7歳 35歳～	8歳 8歳 8歳 40歳～	9歳 9歳 9歳 45歳～	10歳～ 10歳～ 10歳～ 50歳～	15歳～ 15歳～ 15歳～ 55歳～	20歳～ 20歳～ 20歳以上 60歳～	30歳～ 30歳～ 30歳～ 65歳～	40歳～ 40歳～ 40歳～ 70歳以上	50歳～ 50歳～ 50歳～ 70歳以上	60歳～ 60歳～ 60歳～ 70歳以上	70歳～ 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢1	8	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	1	1	-	1
インフルエンザ(※1)	年齢3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症		16	-	3	9	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		82	-	1	2	4	9	14	6	15	6	8	6	6	-	5	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		312	11	28	57	38	30	25	23	13	14	12	6	25	5	25	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		18	-	-	1	1	1	1	9	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
水痘		21	-	3	3	4	3	1	4	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		11	-	-	-	1	3	1	4	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		15	-	7	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳		46	-	6	19	10	2	6	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		33	-	-	1	-	3	1	9	4	5	1	5	3	-	1	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳- 50歳- 70歳以上	60歳- 60歳- 60歳- 70歳以上	70歳- 70歳以上	80歳以上	
男女合計	年齢1	0.12	-	-	-	0.01	0.01	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	0.03	0.01	0.01	-	0.01	
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	0.38	-	0.07	0.21	-	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.95	-	0.02	0.05	0.10	0.21	0.33	0.14	0.36	0.14	0.19	0.14	0.14	-	0.12	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		7.43	0.26	0.67	1.36	0.90	0.71	0.60	0.55	0.31	0.33	0.29	0.14	0.60	0.12	0.60	-	-	-	-	-	-	
水 痘		0.43	-	-	0.02	0.02	0.02	0.02	0.21	0.07	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	
手 足 口 病		0.50	-	0.07	0.07	0.10	0.07	0.02	0.10	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝 染 性 紅 斑		0.26	-	-	-	0.02	0.07	0.02	0.10	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.36	-	0.17	0.12	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百 日 咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		1.10	-	0.14	0.45	0.24	0.05	0.14	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.79	-	-	0.02	-	0.07	0.02	0.21	0.10	0.12	0.02	0.12	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流行性角結膜炎		0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	0.10	-	-	-		
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第23週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年6月15日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	33	14	19	6	6	8
RSウイルス感染症	3	-	-	2	1	1
咽頭結膜熱	7	20	9	11	9	16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	63	99	69	56	82
感染性胃腸炎	267	345	346	332	308	312
水痘	11	10	15	23	7	18
手足口病	-	9	22	22	19	21
伝染性紅斑	5	7	12	8	4	11
突発性発しん	16	22	15	17	18	15
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	4	10	19	34	28	46
流行性耳下腺炎	17	24	26	33	35	33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	2	1	4	4	2
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	402	526	583	561	495	565

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.48	0.20	0.28	0.09	0.09	0.12
RSウイルス感染症	0.07	-	-	0.05	0.02	0.02
咽頭結膜熱	0.17	0.48	0.21	0.26	0.21	0.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.86	1.50	2.36	1.64	1.33	1.95
感染性胃腸炎	6.36	8.21	8.24	7.90	7.33	7.43
水痘	0.26	0.24	0.36	0.55	0.17	0.43
手足口病	-	0.21	0.52	0.52	0.45	0.50
伝染性紅斑	0.12	0.17	0.29	0.19	0.10	0.26
突発性発しん	0.38	0.52	0.36	0.40	0.43	0.36
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.10	0.24	0.45	0.81	0.67	1.10
流行性耳下腺炎	0.40	0.57	0.62	0.79	0.83	0.79
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	0.20	0.10	0.40	0.40	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	9.49	12.55	13.78	13.61	12.03	13.53

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。